



▲釣り場は木更津沖の水深16~17メートル前後  
 ▲11本を釣り上げた山根紀一さん  
 ▼アナゴをタオルなどで押さえるとハリを外しやすい



★中小型が目立ったものの、2本バりにダブルで掛かることもあった

# 東京湾奥南六郷出船 写真●本誌編集部

## 木更津沖で好発進

### 今年はいケるぞ

#### 東京湾の夜アナゴ



◀キャストして広く探るのもおすすめ  
 ▼置き竿に掛かった



▼オーソドックスな仕掛けのパターン。オモリは20号が標準だが当日は潮が速く25号を使用



▲釣ったアナゴは帰港前にきれいにさばいてくれる  
 ▶開いた身と中骨に分けてくれる



▲テンポのいい小つぎで4本釣り上げた  
 ▶ゴツゴツと分かりやすいアタリのほか、微妙な感触のアタリもあった  
 ◀派手なアタリのわりにスッポ抜けも多い

初夏の東京湾の風物詩、夜アナゴが開幕。取材した東京湾奥南六郷のミニ釣船ではフアンのリクエストにこたえて4月16日からスタート。  
 釣り場は木更津沖の水深16~17メートル前後。この日は都合により2時間半の実釣となったがトップ11本、船中16人で71本と上々の滑り出しとなり、安達任伯船長も好感触を得たようだ。  
 当日は中小型が主体ながらどのポイントでも釣れていたため、今年はいかにいけそうなる雰囲気か漂っていた。  
 間もなく最盛期を迎える東京湾の夜アナゴ。船下を小づくもよし、仕掛けを投げて探るもよし、思い思いの釣り方で楽しもう。  
 (詳細は56ページ参照)

▼当日は暗くなってから釣れ始めた



▲満月の夜空の下、ひらすら小づいてアナゴを誘う

